

棚板傾斜アタッチメント

2012.9.24

0. アタッチメントの採用を考える前に

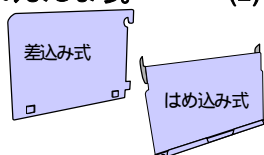
- (1) 図書館員は書架にどのくらい注意をはらっているでしょうか。
- 定期的に棚板の清掃等を行っているか。
 - 地震発生後に書架の点検を行ったことがあるか。
 - 書架の各部材接合部のボルト、ネジ類はきちんと整備されているか。
 - 書架組に変形、破損、断裂等の異常はみられないか。

- (2) 書架グループの歴史を知りましょう。
- 同時に設置されたものか。
 - 年次で段階的に整備されたものか。
 - 異なる書架(差込み、はめ込み、折衷式)が連結されていないか。
 - 頭繋ぎ、床止めが行われた時期はいつごろか。
 - 頭繋ぎが壁に連結されていないか。
 - 避難路に面して壁付け書架が設置されていないか。

1. 書架の確認

- (1) どんな書架がどのくらいあるか調べてみましょう。

- ・差込み式 _____ 棚
- ・はめ込み式 _____ 棚
- ・折衷式 _____ 棚



- (2) それぞれの書架の特徴はどのようなものでしょう。

- | | 袖板 | 棚板 |
|--------|-------|-------|
| ・差込み式 | _____ | _____ |
| ・はめ込み式 | _____ | _____ |
| ・折衷式 | _____ | _____ |

2. 危険性(必要性・優先順位)の確認

- (1) 利用者の集中する場所、館内移動動線上に利用者の視線を遮る書架がどのくらいあるか。(避難誘導灯)
- (2) 閲覧席・避難路と書架がどのくらい離れているか。
- (3) 職員が頻繁に出入りするバックヤード(書庫)があるか。

3. 復旧(被害回復)の容易(迅速)性確保の視点

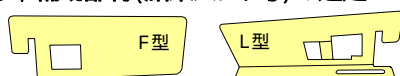
- (1) 集密書架等復旧に制約が多く、時間がかかる書架がどのくらいあるか。
- (2) 復旧に人海戦術がとれない書架があるか。
- (3) 貴重書等復旧作業に素人が手を出せない書架があるか。

4. 使用可否の判定

- (1) 「棚板が外れ易いかどうか」確認しましょう。
- 棚板を簡単に持ち上げられる。
棚板と袖板を外れにくくする構造がない。
- [Yes]:アタッチメントの使用対象です。 5.へ
[No]:他の方法も検討してください。 6.へ
- (2) アタッチメントの正式名称は「棚板傾斜付加金具」です。
アタッチメントを袖板と棚板の接合部に取付け、
棚板を袖板から外れにくくするとともに
棚板を手前から奥に向かって下がるように傾斜させて、
地震動により、資料が落下するのを抑制します。

5. サンプルの取付けと評価

- (1) 書架の種類と取付けを試行するアタッチメントの決定
- ・差込み式 ・ F型
 - ・はめ込み式 ・ L型
 - ・折衷式 ・ F型、L型、L型(変型)
- (2) 取付け用両面テープ、補助部材(結束バンド等)の選定
- (3) 取付け実施と経過観察
- ・折衷式ではF型、L型を同時にテストする。
 - ・折衷式でL型を使用した場合、資料の重量によっては脱落する可能性が高い(相性が悪い)場合があるので、必ずF型も試してみる。
 - ・折衷式で爪が大きい場合はL型(変型)も試してみる。



6. 別法の検討

- (1) 書架減築
- ・利用者用避難路、閲覧席付近の書架撤去
- (2) 既製品(市販品)の活用
- ・ブックキーパー
 - ・滑り止め用安定シート
 - ・滑り止めテープ
- (3) カスタマイズ製品の使用
- ・ブックスタンドプラス
 - ・免振棚(カスタマイズ用)
- (4) 独自仕様の落下軽減対策用品作成(取付け)
- ・ロープ(ビニール、ゴム)
 - ・梱包用平テープ(+ワンタッチバックル)
 - ・ゴム板(袖板支柱差込下部繋手用)
 - ・傾斜台座(包み込み型棚板)
 - ・金具用薄板ゴム
- (5) 書架入替等
- ・免振書架
 - ・免振棚
 - ・免振床

7. 予算化と年次計画

- (1) 落下軽減対策の必要性を明文化
- (2) 落下軽減対策を実施する書架の優先順位(段数)を決定
- (3) 落下軽減対策用品の選定
- (4) 選定した用品の具体化(メーカー選定)と取付け方法(外注含む)の検討
- (5) 予算案の策定と要求
- (6) 応急的な対策の実施
- (7) 書架危険性の周知